

国際物流 総合展に出展

アライプロバンス 新物流施設をPR

総合不動産業のアライプロバンス（東京都墨田区、新井嘉喜雄社長）は、東京都江東区の東京ビッグサイトで13～15日に開かれた「国際物流総合展2021 第2回 INN OVATION EXPO」にブースを出展した。3日間で同社のブースには1日当たり500人以上が立ち寄ったという。

ブースには間もなく完成する「（仮称）浦安市港物流センター」（千葉



展示会は多くの来場者でにぎわった

県浦安市）の模型を展示。東京都墨田区東葛西の自社工場跡地で計画している新物流施設も紹介した。江戸下町を意識しブース壁面に葛飾北斎の浮世絵をあしらいい、新物流施設をアピールした。

新井太郎代表取締役専務は「東葛西の物件は東京23区内で最大級の規模になる。来場者からの注目も大きい。2期に分けて整備する予定で、しばらく遊休地になる第2期整備用地の活用策も考えたい」と述べた。

